

会 社 名 東福製粉株式会社
 代 表 者 取締役社長 野上 英一
 (コード番号 2006 東証第2部・福証)
 問 合 せ 先 総務部長 進藤 孝
 TEL (092) 781 - 1661

個別における特別損失の発生並びに第2四半期累計業績予想及び通期業績の修正に関するお知らせ

当社は、平成21年9月期第2四半期会計期間において特別損失を計上する見込みであるとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年 11月 19日の決算発表時に公表した第2四半期累計期間(平成20年10月1日～平成21年3月31日)及び通期(平成20年10月1日～平成21年9月30日)の業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせ致します。

記

1. 21年 9月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正(平成 20年 10月 1日 ～ 平成 21年 3月 31日)

(1) 個別第2四半期累計期間業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月19日発表)	2,260	43	26	14	1.50
今回修正予想(B)	2,190	38	22	2	0.20
増減額(B-A)	△ 70	△ 5	△ 4	△ 12	
増減率	△ 3.1	△ 11.6	△ 15.4	△ 85.7	
前期(平成20年9月期第2四半期)実績	1,834	26	9	3	0.32

(2) 連結第2四半期累計期間業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月19日発表)	2,348	63	61	45	4.50
今回修正予想(B)	2,245	53	13	△ 6	△ 0.67
増減額(B-A)	△ 103	△ 10	△ 48	△ 51	
増減率	△ 4.4	△ 15.9	△ 78.7	—	
前期(平成20年9月期第2四半期)実績	1,886	43	47	41	4.16

2. 21年 9月期通期業績予想数値の修正(平成 20年 10月 1日 ～ 平成 21年 9月 30日)

(1) 個別通期業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月19日発表)	4,500	83	53	27	2.50
今回修正予想(B)	4,420	65	36	8	0.80
増減額(B-A)	△ 80	△ 18	△ 17	△ 19	
増減率	△ 1.8	△ 21.7	△ 32.1	△ 70.4	
前期(平成20年9月期)実績	3,940	99	64	35	3.59

(2) 連結通期業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月19日発表)	4,670	108	108	81	8.00
今回修正予想(B)	4,532	87	49	23	2.34
増減額(B-A)	△ 138	△ 21	△ 59	△ 58	
増減率	△ 3.0	△ 19.4	△ 54.6	△ 71.6	
前期(平成20年9月期)実績	4,045	129	108	76	7.68

3. 理 由

当期は、平成20年11月19日に公表しておりました連結及び個別の業績予想に差異が生じる見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

個別においては、これまでに輸入小麦の政府売渡価格が数回にわたり引き上げられてきましたが、本年4月においては、値下げが行われ、値下げ前の買い控えや、雇用情勢の悪化などによる景気の先行き不透明感なども影響し需要全体が落ち込みました。

また、特別損失の計上につきましては、当社の取引先である島原素麺生産組合に対して取立遅延のおそれがあるとして貸倒引当金繰入1千2百万円及びたな卸評価損1百万円を計上することとなりました。

その結果、売上高、営業利益、経常利益、当四半期純利益ともに予想を下回りました。

連結においては、持分法適用会社で固定資産の減損処理を行ったことにより、持分法による投資損失2千4百万円を計上いたしましたので、経常利益、当四半期純利益は予想を下回りました。

通期におきましては、景気の先行き不透明感は解消する兆しが見えず、依然として厳しい経営環境下にあります。第2四半期の予想との差異を埋めるべく、提案型営業による販売拡充と経費削減、製造効率のアップによるコスト削減に一層努めて参ります。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手される様々な情報に基づいて作成したものであり、将来の業績を確約したり、保証するものではありません。

以 上